



## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月11日

上場会社名 株式会社妙徳  
コード番号 6265

上場取引所 JASDAQ  
URL <http://www.convum.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中森 俊雄  
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)吉田 清輝  
四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

TEL (03)3759-1491(代表)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	712	(△2.6)	94	(△16.3)	89	(△18.2)	56	(2.8)
20年3月期第1四半期	731	(△8.1)	112	(△13.3)	109	(△15.6)	54	(△27.0)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	7	01	—	—
20年3月期第1四半期	6	82	6	81

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第1四半期	4,041		2,516		62.3		313	80
20年3月期	4,115		2,507		60.9		312	67
(参考) 自己資本	21年3月期第1四半期		2,516百万円		20年3月期		2,507百万円	

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	4 50	—	4 50	9 00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	4 50	—	4 50	9 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	1,637	(8.5)	210	(△4.9)	205	(△5.9)	119	(△1.9)	14	84
通 期	3,319	(9.9)	461	(1.0)	452	(2.8)	253	(6.1)	31	56

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
- ② ①以外の変更 : 無  
[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |            |             |            |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  |             |            |             |            |
|                      | 21年3月期第1四半期 | 8,285,000株 | 20年3月期      | 8,285,000株 |
| ② 期末自己株式数            |             |            |             |            |
|                      | 21年3月期第1四半期 | 264,677株   | 20年3月期      | 263,900株   |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) |             |            |             |            |
|                      | 21年3月期第1四半期 | 8,020,818株 | 20年3月期第1四半期 | 8,015,100株 |

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国経済の急減速が与える世界経済への影響により景気を支えていた輸出も伸び悩み、原油、原材料の高騰等企業を取り巻く環境悪化によって、企業部門を中心に弱さが目立ち、個人消費も盛り上がりには欠け、景気は横ばい状態から後退懸念を払拭出来ない状況下にありました。

当業界におきましては、景気減速が懸念される環境下、堅調さを維持した民間設備投資も足踏み状態となり、全般的には需要は弱含みで推移いたしました。

このような環境下で、当社グループは、販売面ではタイ国に新たに販売現地法人を設立、既存海外販売現地法人営業拠点の拡充、サービス体制の充実による海外販売網の強化等、積極的に海外の需要の掘り起しを図ると共に、液晶パネル等の搬送用エア浮上ユニット(CONFLOAT)の市場ニーズへの対応を図り拡販を推進し、生産面では秋田事業所における新工場の建設による生産性の向上、工程改善等による納期短縮・原価低減に取り組みました。

この結果、当第1四半期の業績につきましては、連結売上高は712,321千円(前年同期比97.4%)となり、連結経常利益は89,788千円(前年同期比81.8%)、四半期純利益は56,235千円(前年同期比102.8%)となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

大幅な需要増があった前年同期に対し受注が減少したことにより、売上高は、701,161千円となりました。営業利益については、販売費及び一般管理費の増加もあって、89,743千円となりました。

② 韓国

売上高は、半導体市場の受注減もあり24,833千円となりました。営業利益については、5,195千円となりました。

③ その他

売上高は、中国市場における販売増などにより59,749千円となりました。営業利益については、8,161千円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ61,176千円減少し、1,807,687千円となりました。これは、主として現金及び預金が109,489千円、たな卸資産が62,143千円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が50,799千円、有価証券が202,386千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて11,988千円減少し、2,234,287千円となりました。これは、主として有形固定資産が23,349千円減少したことによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ73,165千円減少し、4,041,974千円となりました。

流動負債は、13,485千円減少し、811,953千円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が40,231千円、賞与引当金が29,981千円増加したのに対し、未払法人税等が90,273千円減少したことによります。

固定負債は68,456千円減少し、713,274千円となりましたが、これは主として長期借入金73,398千円減少したことによります。

この結果、負債合計は、81,942千円減少し、1,525,227千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて8,776千円増加し2,516,746千円となりました。主として利益剰余金が20,140千円増加し、評価・換算差額等合計が11,169千円減少したことによります。

その結果、自己資本比率は62.3%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、資金という)は、前連結会計年度末に比べ102,396千円増加し、402,514千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益89,728千円に加え、減価償却費45,587千円、仕入債務の増加額48,827千円等の増加要因に対し、法人税等の支払額136,805千円等の減少要因により60,919千円の資金収入となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券の償還による収入202,598千円等の増加要因に対し、有形固定資産の取得による支出16,206千円等の減少要因により157,449千円の資金収入となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出76,635千円及び配当金の支払額28,759千円等の減少要因により105,588千円の資金支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想については、平成20年5月12日に平成20年3月期決算短信において公表いたしました業績予想から変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の計算に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	444,009	334,519
受取手形及び売掛金	888,757	939,557
有価証券	—	202,386
製品	207,273	172,693
仕掛品	82,042	70,164
原材料	111,583	95,897
繰延税金資産	45,162	29,477
その他	29,085	24,441
貸倒引当金	△226	△273
流動資産合計	1,807,687	1,868,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,230,211	1,228,679
減価償却累計額	△402,011	△388,479
建物及び構築物(純額)	828,199	840,200
機械装置及び運搬具	517,266	515,715
減価償却累計額	△321,175	△312,078
機械装置及び運搬具(純額)	196,091	203,637
土地	731,399	731,399
その他	312,646	309,998
減価償却累計額	△235,673	△229,222
その他(純額)	76,973	80,776
有形固定資産合計	1,832,663	1,856,013
無形固定資産	79,225	84,655
投資その他の資産		
投資有価証券	151,435	125,969
繰延税金資産	40,979	46,868
その他	129,982	132,768
投資その他の資産合計	322,398	305,607
固定資産合計	2,234,287	2,246,276
資産合計	4,041,974	4,115,140

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	172,032	131,801
1年内返済予定の長期借入金	298,623	301,860
未払法人税等	51,507	141,781
賞与引当金	90,396	60,414
その他	199,393	189,581
流動負債合計	811,953	825,439
固定負債		
長期借入金	577,902	651,300
退職給付引当金	104,538	99,596
その他	30,834	30,834
固定負債合計	713,274	781,730

負債合計	1,525,227	1,607,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	945,766	945,766
利益剰余金	841,832	821,692
自己株式	△43,957	△43,763
株主資本合計	2,491,766	2,471,820
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,698	28,224
為替換算調整勘定	△11,717	7,926
評価・換算差額等合計	24,980	36,150
純資産合計	2,516,746	2,507,970
負債純資産合計	4,041,974	4,115,140

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年6月30日)

売上高	712,321
売上原価	314,475
売上総利益	397,846
販売費及び一般管理費	303,338
営業利益	94,507
営業外収益	
受取利息	38
受取配当金	1,803
受取地代家賃	429
その他	704
営業外収益合計	2,975
営業外費用	
支払利息	3,764
売上割引	73
為替差損	3,616
その他	241
営業外費用合計	7,695
経常利益	89,788
特別利益	
特別利益合計	—
特別損失	
固定資産除却損	60
特別損失合計	60
税金等調整前四半期純利益	89,728
法人税、住民税及び事業税	49,178
法人税等調整額	△15,685
法人税等合計	33,493
四半期純利益	56,235

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	89,728
減価償却費	45,587
固定資産除却損	60
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	30,114
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,263
受取利息及び受取配当金	△1,841
支払利息	3,764
売上債権の増減額 (△は増加)	43,546
仕入債務の増減額 (△は減少)	48,827
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△66,097
未払金の増減額 (△は減少)	△3,923
その他	3,656
小計	198,684
利息及び配当金の受取額	1,841
利息の支払額	△3,506
法人税等の還付額	704
法人税等の支払額	△136,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,919
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△11,953
有価証券の償還による収入	202,598
投資有価証券の取得による支出	△1,200
有形固定資産の取得による支出	△16,206
無形固定資産の取得による支出	△5,887
子会社株式の取得による支出	△9,902
投資活動によるキャッシュ・フロー	157,449
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△76,635
自己株式の取得による支出	△194
配当金の支払額	△28,759
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,588
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,383
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	102,396
現金及び現金同等物の期首残高	300,118
現金及び現金同等物の四半期末残高	402,514



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

当社グループは真空機器関連製品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する真空機器及び真空機器関連製品等の製造、国内外での販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	日本 (千円)	韓国 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	629,523	23,898	58,900	712,321	—	712,321
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	71,638	934	848	73,421	(73,421)	—
計	701,161	24,833	59,749	785,743	(73,421)	712,321
営業利益(又は営業損失)	89,743	5,195	8,161	103,100	(8,593)	94,507

(注) 国又は地域は、国ごとに区分しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	139,428	20,193	15,211	174,833
II 連結売上高(千円)	—	—	—	712,321
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	19.6	2.8	2.1	24.5

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

アジア・・・韓国、台湾、中国、シンガポール

北米・・・米国

その他の地域・・・上記以外の国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前四半期にかかる財務諸表

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	
	金額	百分比 (%)
I 売上高	731,125	100.0
II 売上原価	316,666	43.3
売上総利益	414,459	56.7
III 販売費及び一般管理費	301,520	41.3
営業利益	112,938	15.4
IV 営業外収益	3,668	0.5
V 営業外費用	6,875	0.9
経常利益	109,731	15.0
VI 特別利益	—	—
VII 特別損失		
固定資産除却損	50	
特別損失合計	50	0.0
税金等調整前四半期純利益	109,680	15.0
税金費用	54,997	7.5
四半期純利益	54,682	7.5

(2) (要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
区分	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	109,680
減価償却費	40,722
固定資産除却損	50
賞与引当金の増加額	22,350
退職給付引当金の増加額	4,893
受取利息及び受取配当金	△1,852
支払利息	3,966
売上債権の増加額	△2,843
仕入債務の増加額	2,346
たな卸資産の減少額	20,877
未払金の減少額	△27,410
その他	319
小計	173,101
利息及び配当金の受取額	1,852
利息の支払額	△3,966
法人税等の還付による収入	931
法人税等の支払額	△46,793
営業活動によるキャッシュ・フロー	125,125
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有価証券の償還による収入	100,526
投資有価証券の取得による支出	△1,200
有形固定資産の取得による支出	△6,628
無形固定資産の取得による支出	△3,347
投資活動によるキャッシュ・フロー	89,350
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の返済による支出	△40,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△80,498
社債の償還による支出	△122,500
配当金の支払額	△27,088
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,086
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△5,748
<b>V 現金及び現金同等物の増加額</b>	38,640
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	224,349
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	262,990